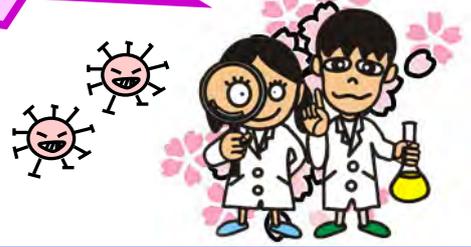


感染症に気をつけよう!

2017年【4月号】

横浜市内の感染症 流行状況



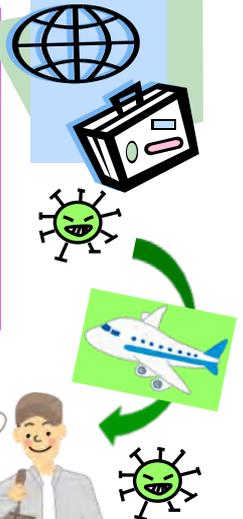
感染症	流行状況		説明
			【解説付き既刊号】 ← クリック
インフルエンザ	流行	減少	警報解除基準値を下回りましたが、まだ集団発生も報告されています。引き続き注意しましょう。【'17.3号】
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	やや流行	横ばい	昨年と同様に、報告が多い状態が続いています。最も有効な予防方法は、ワクチン接種です。【'16.6号】

今、気をつけたい感染症 麻しん(はしか)



感染力がとても強く、重い合併症も!

- ✓ 麻しんウイルスが原因で、感染力がとても強く、免疫がない人が感染すると、ほぼ100%発症します。
- ✓ 肺炎や、まれに脳炎を起こす場合があります、命に関わることもあります。



海外で感染し、国内で患者発生!

- ✓ 日本は2015年3月に麻しん排除国と認定されました。
- ✓ しかし、海外では流行している地域も多く、渡航中に感染した人から、国内で別の人にうつった例もあります。



2回のワクチン接種で予防!

- ✓ 市内でも、海外で感染したケースが報告されています。いつ身近なところへ、麻しんウイルスが持ち込まれるか分かりません。
- ✓ かかりつけ医に相談して、麻しん風しん混合(MR)ワクチンを2回接種して予防しましょう。
- ✓ ワクチンを受けることで、自分だけでなく、家族など周囲の人も麻しんから守ることができます。

